

東京 中央区

観光ガイドマップ

日本橋

銀座

築地

人形町

つくだ・つきしま



中央区観光協会

中央区 見て歩きアドバイス

中央区は区名が示すとおり、東京23区のほぼ中央に位置し、その区域は、両国橋下流の隅田川右岸に沿って帯状に広がっており、大部分が江戸時代以降の埋め立てによって生まれた土地であるため、高低差が少ない地形となっています。

中央区は、陸の玄関口であるJR東京駅八重洲口を始め、日本橋箱崎町には空の玄関である東京シティアターミナルがあります。

そして中央区をすみずみまで見るには、地下鉄が便利です。区内を縦横に9本の路線が通っていて、合わせて29の駅があります。また、バス路線も充実しているので上手に利用してください。

でも本当は、中央区はできるだけ歩いて、時間をかけて、街の一つひとつを味わうように見てほしいのです。きっと、新鮮な驚き、楽しい発見、おいしい出逢いがあるはずですよ。

そんな魅力のある中央区の37の町を、五つのエリアに分けてご案内します。



■アクセス (主要駅まで)

■電車		
新宿駅	JR中央線快速で約13分	東京駅
新宿駅	都営大江戸線で約21分	築地市場駅 約4分
浅草駅	東京メトロ銀座線で約13分	日本橋駅 約3分
池袋駅	東京メトロ有楽町線で約21分	銀座一丁目駅 約3分
成田空港	JR成田エクスプレス(N'EX)で約60分	東京駅

羽田空港	京急線快速、都営浅草線直通で約36分	日本橋駅	京成アクセス特急で約70分	成田空港
------	--------------------	------	---------------	------

■バス (当日の混雑状況により遅延する場合があります。)

成田空港	リムジンバスで約80分	東京シティアターミナル(T-CAT)	東京駅
羽田空港	リムジンバスで約30分	東京シティアターミナル(T-CAT)	東京駅

中央区内便利な移動手段♪

●中央区コミュニティバス『江戸バス』

大人も子どもも運賃100円(未就学児は無料)で中央区内を循環する便利でお得な江戸バスに乗車できます。中央区役所を起点として、南循環と北循環があり、20分間隔で運行しています。乗車の際には交通系ICカードもご利用になれます。

お問い合わせ:中央区環境土木部環境政策課 ☎03-3546-5413

●コミュニティサイクル

現在東京23区内では、千代田・中央・港・新宿・文京・江東・品川・目黒・大田・渋谷・中野区の11区が連携しコミュニティサイクルの相互乗り入れが可能となり、さらに便利となりました。サイクルポートも全体で820カ所(2020.9月末時点)あり、これからますます増えていく予定です。登録をすればどのサイクルポートからも借りられて、返却も11区内のサイクルポートならばどこでも可能です。登録方法、料金等、詳しくは下記へお問い合わせ下さい。

お問い合わせ ☎0120-116-819

地図上では、このマークがサイクルポートの目印♪

●中央区まち歩きボランティアガイド

文化財サポーターが、中央区内をご案内いたします。3名様以上で、1回2時間程度、3週間前までのお申込み。また資料代としてお一人様300円を頂戴しております。

お申し込み用紙に必要事項を記載の上、メールもしくはFAXにてお申し込み下さい。

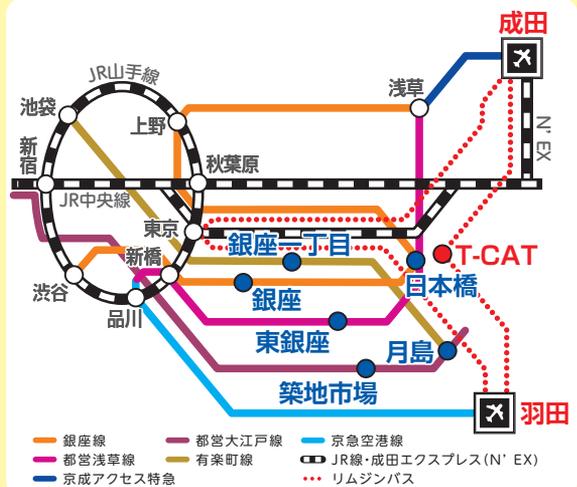
※詳しくは、右のQRコードからご確認くださいませ。



web サイト

中央区の公共の場所(道路、公園等)では、歩きタバコ・ポイ捨ては禁止です!

■主要都市からの主な移動手段



中央区 イベントガイド

※イベントは、予告なく変更または中止となる場合があります。
 ※最新のイベント情報は、右のQRコードからご確認いただけます。



開催月	開催日	イベント名	イベント内容および開催地	主催	問合せ
1月	3日	箱根駅伝復路	日本橋を渡るゴールが見えてくる!!	関東学生陸上競技連盟	03 (5411) 1488
	5日	初水天宮	毎月5日が縁日。この日は特に賑やか	水天宮	03 (3666) 7195
	1~7日	日本橋七福神めぐり	水天宮・茶の木神社・小網神社・梶森神社・笠間稲荷神社・未廣神社・松島神社の7つの神社を巡る	日本橋七福会総務(小網神社)	03 (3668) 1080
	第2日曜日	寒中水浴大会	氷を入れた水槽に入り心身を清める	鐵砲洲稲荷神社	03 (3551) 2647
2月	3日	節分祭	邪気を追い払うために古くから行われてきた行事。 年男・年女などによる恒例の豆まきが行われます	鐵砲洲稲荷神社	03 (3551) 2647
				鐵砲洲稲荷神社	03 (3551) 2647
				波除神社	03 (3541) 8451
				水天宮	03 (3666) 7195
				梶森神社	03 (3661) 5462
				笠間稲荷神社	03 (3666) 7498
善光寺別院	—				
月島開運観世音	—				
中旬(隔年)	中央区雪まつり	あかつき公園で行われる雪のイベント	地域振興課地域事業係	03 (3546) 5338	
3月	第1日曜日	東京マラソン	第1回は2007年。今では世界の主要なマラソン大会のひとつ	一般財団法人 東京マラソン財団	—
4月	上旬の日曜日	春の名橋「日本橋」まつり	橋のたもとで多彩なイベントを実施	名橋「日本橋」保存会	03 (3546) 5328
	上旬	はなまつり	4月8日のお釈迦様のお誕生日にちなんでお祝いをする	築地本願寺 大観音寺	03 (3541) 1131 03 (3666) 9064
5月	上旬	鐵砲洲稲荷神社例大祭(本祭は3年に1度)	神楽舞と街をねり歩く風習は必見	鐵砲洲稲荷神社	03 (3551) 2647
	5日	水天宮例大祭	11時から神事を執り行い、五穀豊穡を願い献讃する	水天宮	03 (3666) 7195
	中旬	神田祭(大祭は隔年)	江戸三大祭に数えられるお祭り。中央区内は日本橋を巡幸	神田明神	—
	中旬	梶森神社例大祭(本祭は3年に1度)	本祭には大神輿(約1.4t)が氏子町内を巡幸	梶森神社	03 (3661) 5462
	下旬	小網神社例大祭	5年に1度、宮神輿の遷御があります	小網神社	03 (3668) 1080
東をどり	新橋芸者による華やかで粋な舞台	東京新橋組合	03 (3571) 0811		
6月	上旬	山王祭(大祭は隔年)	黄金の鳳凰をつけた鳳輦が、日本橋、京橋、銀座の街を巡幸する	日枝神社	03 (3581) 2471
		築地獅子祭り(大祭は3年に1度)	獅子頭を担ぎ 築地のまちを神輿のように練り歩く	波除神社	03 (3541) 8451
	中旬から下旬	茅の輪くぐり	チガヤなどで作った大きな輪をくぐって身を祓う古式	波除神社 小網神社	03 (3541) 8451 03 (3668) 1080
7月	第2土・日曜日	月島草市	下町情緒豊かな益貝市	月島西仲共栄会商店街振興組合	03 (3531) 0076
	第4日曜日	名橋「日本橋」橋洗い	日本橋美化のためのイベント	名橋「日本橋」保存会	03 (3546) 5328
	第1月~水曜日	せともの市	下町の夏の風物詩の陶器市	せともの市実行委員会	03 (3691) 4347
8月	上旬	ホリデープロムナードゆかたで銀ぶら	夏の銀座で涼を楽しむイベント	全銀座会催事委員会	—
		築地本願寺納涼盆踊り大会	築地本願寺での納涼盆踊り	築地本願寺	03 (3541) 1131
		佃祭・住吉神社例祭(本祭は3年に1度)	本祭りでは佃ばやしにのって、八角みこしが練り出す	住吉神社	03 (3531) 3500
	中旬	能楽金春祭り	「路上能」は7日に開催	銀座金春通り会	03 (3571) 1572
		サマーフェスティバル	競技綱引のお祭りや夏の屋台村が集結	中央区商店街連合会	03 (6228) 7905
		深川八幡祭り(本祭は3年に1度)	神輿が清洲橋を渡って箱崎、新川へ	富岡八幡宮	03 (3642) 1315
下旬の金・土曜日	大江戸まつり盆おどり大会	浜町公園で行われる中央区首頭の納涼盆踊りと縁日	大江戸まつり実行委員会	03 (3546) 5336	
9月	上旬の土曜日	中央区観光大使・ミス中央選考会	一般公開で行われる選考会	中央区観光協会	03 (6228) 7907
10月	1日~11月下旬	中央区観光商業まつり	期間中は区内の様々な場所でイベントが行われ	中央区観光商業まつり実行委員会	03 (3546) 5328
		オープニングイベント	中央区の秋の魅力を味わえるお祭り		
	上旬	てんでん祭	人形町大通りの半分が歩行者天国になる、人形町の風物詩	人形町商店街協同組合	03 (3666) 9064
		よりどりみどり市	月島西仲商店街での縁日、植木市等が行われる	月島西仲共栄会商店街振興組合	03 (3531) 0076
	19日~20日	日本橋恵比壽講べつたら市	べつたら漬けが売られる秋の風物詩	寶田恵比壽神社べつたら市保存会	090 (4674) 7071
	中旬	中央区子どもフェスティバル	子どもを中心とした楽しい遊びの一日	文化・生涯学習課青少年係	03 (3546) 5304
		人形市	人形町の地名にちなんだ市 各種人形の展示即売等	人形町商店街協同組合	03 (3666) 9064
	下旬	築地秋まつり	築地場外市場で築地の味などを楽しめる	築地場外市場商店街振興組合	03 (3541) 9444
		日本橋・京橋まつり「大江戸活粋パレード」	中央通りで開催される盛大なパレード	日本橋・京橋まつり実行委員会	03 (3561) 7348
		諸国往来市	全国の名産品がずらりと並ぶ物産市		
10月下旬~11月上旬(隔年)		中央区産業文化展	区内産業の振興、発展への寄与と青少年に対する教育を目的としたイベント	中央区産業文化展実行委員会	03 (3546) 5328
10月下旬~11月中旬	オータムギンザ	銀座で行われる盛大なイベント	全銀座会催事委員会	—	
	中央区まごどミュージアム	中央区全域がミュージアムに。各エリアでイベントを行います	文化・生涯学習課文化振興係	03 (3546) 5345	
	フラワーカーベト晴海	花びらで描かれるフラワーアートパフォーマンス	晴海トリانسクエア	03 (3531) 2810	
	東京まん真ん中「味と匠の大中央区展」	中央区に所縁を持った商店の「名物」「銘品」を案内・販売	商工観光課商工観光係	03 (3546) 5328	
11月	酉の日	人形町・酉の市(松島神社)	商売繁盛の縁起物 熊手は有名	松島神社	03 (3669) 0479
	11~16日	築地・酉の市(波除神社)	親鸞上人への祖師恩の法会	波除神社	03 (3541) 8451
	下旬	小網神社どぶろく祭り	豊穣感謝のどぶろくを振舞います	小網神社	03 (3668) 1080
12月	5日	納めの水天宮	一年の無事を感謝する古札納め	水天宮	03 (3666) 7195
	26日~28日	やげん堀納めの歳市の歳末大出庫市	衣料品や日用雑貨が格安で売り出されます	薬研堀不動院	03 (3866) 6220
	中旬~1/10	茅の輪くぐり	チガヤなどで作った大きな輪をくぐって身を祓う古式	波除神社	03 (3541) 8451

日本橋



13 日本橋高島屋 C-3 (国指定重要文化財)

百貨店建築として初めて、平成21年(2009)国の重要文化財に指定されました。昭和8年(1933)に高橋貞太郎設計で、全館冷暖房を完備した店舗が新築されました。戦後、村野藤吾による増築が重ねられ、「全体が一体不可分の建築作品」として評価されています。

14 常盤橋門跡 C-2 (国指定史跡)

江戸城正面の大手門に通じる重要な外郭門で、現在は枳形門の石垣だけが残っています。この門は、浅草・千住を経て日光道中や奥州道中に通じる出入口でもあったため、「浅草口」「大手口」とも呼ばれ、江戸五口のひとつに数えられました。

15 日本銀行本店本館 C-2 (国指定重要文化財)

日本銀行本店本館は、明治29年(1896)竣工のネオ・バロック様式の石造建造物です。建築家の辰野金吾は欧米の銀行建築を視察し、最終的にベルギーの国立銀行をモデルに設計したといわれています。構造は、石積レンガ造による地上3階・地下1階建てで周囲を建物で囲んだ堅固なデザインに特徴があります。なお、日本銀行本店本館は江戸時代の金座の跡地に建てられています。



10 一石橋迷子しらせ石標 C-3 (都指定文化財)

安政4年(1857)日本橋西河岸町の町人たちが資金を出し合って建立した石柱で、正面に「まよひ子のしるべ」、左面に「たづぬる方」、右側に「しらすの方」と刻まれ、迷子の特徴を記した紙を貼って使用しました。



11 熙代勝覧 C-3

東京メトロ三越前駅の地下コンコース壁面には「熙代勝覧」の複製絵巻が約17メートルにわたり設置されています。「熙代勝覧」は、文化2年(1805)頃の日本橋から今川橋までの大通り(現在の中央通り)を東側から俯瞰し江戸時代の町人文化を克明に描いた絵巻物です。



12 日本橋三越本店・三越劇場 C-3 (国指定重要文化財)

江戸時代、日本橋に呉服商の越後屋を開業したのがはじまり。明治37年(1904)「デパートメントストア宣言」を行い、日本で最初のデパート「三越呉服店」が誕生しました。昭和2年(1927)には、世界初の百貨店の中にある劇場として「三越ホール」の名称でオープンしました。



今も橋の中央に「日本国道路元標」のプレートが埋め込まれています。現在の橋は、明治44年(1911)に完成した石造2連のアーチ橋です。また、南詰西側の「花の広場」には、2017年7月に日本橋観光案内所がオープン。その横には「日本橋由来記」の碑が立っています。

1 日本橋、日本国道路元標 C-3 (国指定重要文化財)

日本橋は、慶長8年(1603)に初めて架けられたといわれ、翌年には、五街道の起点となり、日本の中心、江戸繁栄の象徴となりました。明治に入ってからのは、この橋の中央が国道の起点と定められ、

7 小津史料館・小津ギャラリー C-2

伊勢国松坂から出府し、江戸に紙問屋を開いて以来の貴重な古文書などの史料を展示しています。



8 三井本館 C-2 (国指定重要文化財)

平成10年(1998)国の重要文化財に指定され、コリント式列柱や内部1階のドリス式円柱群と吹き抜けの大空間など、建築作品として見応え充分で、昭和初期を代表する建築物です。



9 三井記念美術館 C-2

三井家が江戸時代から収集した、日本および東洋の国宝を含む約4,000点の優れた美術品を収蔵する美術館です。

2 日本橋魚市場 発祥之地 C-3

板舟に魚介類を並べて販売するのがはじまりと言われる日本橋魚河岸。関東大震災で焼失し築地に移転するまで、日本橋に魚河岸があったことを伝える記念碑があります。記念碑の隣には龍宮城の住人である海の魚が、ことごとく日本橋に集まったという意味を含め、乙姫をイメージした像が置かれています。



3 ポリスミュージアム (警察博物館) B-4

警視庁の歴史と活動に関する資料を多数展示しています。

4 アーティゾン美術館 C-4

プリヂェストン美術館から改名。西洋古代の美術品や近代絵画など幅広いジャンルを展示しています。

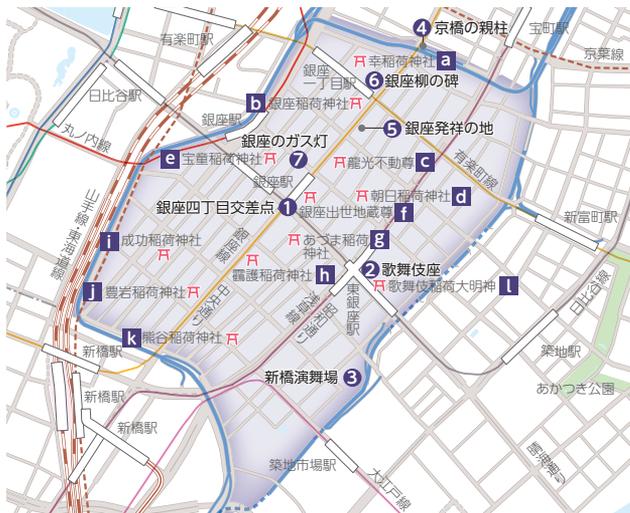
5 国立映画アーカイブ C-4

国内、国外の映画フィルムや映画関係資料の展示、企画、上映をしています。

6 貨幣博物館 C-3

日本の古代貨幣から近代の円の誕生までと、世界の国々の貨幣や珍しいお金など、"お金"のすべてを勉強できる博物館です。

銀座



4 京橋の親柱 B-4 (区民文化財)

京橋は日本橋と同年の慶長8年(1603)に創架されたといわれています。江戸時代は木橋でしたが、明治8年(1875)に石造アーチ橋、同34年(1901)には鉄橋となりました。昭和38年(1963)から40年(1965)にかけての京橋川の埋め立てに伴って撤去され、現在中央通りの歩道に石造親柱が3基残されています。このうち、擬宝珠のある2基は、明治8年(1875)のときのもので、



7 銀座四丁目交差点 B-5
銀座の顔である四丁目の交差点。和光の時計塔は銀座のランドマークとして親しまれています。



5 銀座発祥の地 B-5

「銀座」は、江戸時代金貨(小判)を扱う銀座に対し、銀貨の鑄造・取締りを司った幕府の機関で、慶長17年(1612)駿河にあった銀座が江戸の新両替町(現在の銀座二丁目)に移されました。これが銀座の地名の起こりです。のちに銀座役所は、かつての蛸殻町(現在の日本橋人形町一丁目)へ移設され、明治2年(1869)、造幣局が設置されるまで存続しました。



2 歌舞伎座 B-5

歌舞伎は一年をおとして上演され、文字通り歌舞伎の総本山です。初代は明治22年(1889)に開場。当時は、時代の先端を行く洋風の建物でした。数度の建替えを経て、第四期が、昭和26年(1951)開場。そして平成25年(2013)4月に開場した第五期の歌舞伎座は永年親しまれた第四期の外観、内観を受け継ぎながら最新鋭の設備を備え、劇場とオフィスタワーの歌舞伎座タワーからなる複合施設「GINZA KABUKIZYA」の顔となっています。そのタワーの5階には、歌舞伎をテーマにした文化施設「歌舞伎座ギャラリー」や、劇場の上になられた「屋上庭園」があります。



6 銀座柳の碑 A-6

銀座煉瓦街の完成時、街路樹として松・楓・桜などを植えたがすぐに枯れてしまい、柳だけが根付きました。その後、道路拡張や大火により何度か柳が銀座から姿を消しましたが、地元の人々の尽力によりよみがえり、柳の緑が一面を覆うようになりました。

7 銀座のガス灯 B-5

銀座三丁目にある銀座ガス灯通りには、当時の復元されたガス灯が4基灯っています。明治時代に建てられた85基のガス灯が、当時の銀座を照らしたことを記念したものです。文明開化の先駆けとなった銀座ですが、提灯からガス灯へ変わった時の人々の驚きは大きかったことでしょう。



3 新橋演舞場 B-6

京阪の歌舞練場や演舞場を手本に、新橋芸者の技芸向上とこれを披露する場として大正14年(1925)に開場しました。毎年初夏には新橋芸者による「東をどり」の公演を行うほか、歌舞伎や新派を始め、幅広いジャンルの公演を行っています。



銀座八丁神社めぐり

- a 幸稲荷神社 B-4 …… 銀座一丁目(並木通り)
- b 銀座稲荷神社 B-5 …… ※普段は非公開となっています
- c 龍光不動尊 B-5 …… 松屋銀座屋上
- d 朝日稲荷神社 B-5 …… 大広朝日ビル
- e 宝童稲荷神社 B-5 …… 銀座レング大通りから路地に入る
- f 銀座出世地蔵尊 (区民文化財) B-5 …… 三越銀座9階
- g あづま稲荷神社 B-5 …… あづま通り・三原小路
- h 靄護稲荷神社 B-5 …… GINZA SIX屋上
- i 成功稲荷神社 A-5 …… ※普段は非公開となっています
- j 豊岩稲荷神社 A-5 …… 銀座すずらん通りから路地に入る
- k 熊谷稲荷神社 B-3 …… 銀座七丁目(花椿通り)
- l 歌舞伎稲荷大明神 B-5 …… 歌舞伎座正面右側



龍光不動尊



靄護稲荷神社



銀座出世地蔵尊



歌舞伎稲荷大明神

築地



① 浜離宮恩賜庭園 A-7・B-7 (国指定特別名勝・特別史跡)

将軍家の別邸で大名庭園の面影を現代に伝える潮入りの池と鴨場を備える庭園です。江戸時代初期は将軍家の鷹狩り場でしたが、甲府藩主の徳川綱重が、四代将軍家綱から拝領して下屋敷と称してからは甲府浜屋敷と呼ばれるようになりました。さらにこの後、六代将軍家宣になってからは浜御殿と称される将軍家の別邸となりました。明治3年(1870)、宮内省の所管となって、浜離宮と改称され、皇室園遊の地にあてられました。戦後は一般に開放され、昭和27年(1952)には国の特別名勝、特別史跡に指定されました。

① かちどき橋の資料館 C-6

橋を開くために使用していた変電所を改修し、勝鬨橋をはじめ隅田川の橋について、貴重な資料や関連情報等を展示・公開しています。

② 京橋図書館地域資料室 C-5

江戸、東京の歴史や文化財、中央区の街や地域の移り変わりなどの各種資料が約2万点所蔵されています。

③ 蘭学事始地碑 C-6 (都指定文化財)

豊前国(現在の分県)中津藩奥平家の中屋敷がかつてこの地にあり、邸内では藩医で蘭学者の前野良沢らがオランダ語の医学「ターヘル・アナトミア」の翻訳に取り組み、「解体新書」を出版しました。当時の苦心の様子は、杉田玄白「蘭学事始」に詳しく書かれています。



④ 中央区立郷土天文館 (タイムドーム明石) C-6

郷土資料の常設展示室・プラネタリウム・区民ギャラリーがあります。歴史や芸術、天文などに興味を持っている方の交流の場としてご利用いただける施設です。

⑤ トイスラー記念館 C-6 (区民文化財)

トイスラー記念館は、昭和8年(1933)に聖路加国際病院の宣教師館として建設されました。建物は鉄筋コンクリート2階建てで、外観は柱や梁などを表現した意匠を持ち、室内は厚重な木の内装や階段廻りのデザインに特徴があります。平成10年(1998)に移築復元され、創建当時の姿を今に伝えています。



〈内部非公開〉

⑥ 於岩稲荷田宮神社 D-4

戯曲「東海道四谷怪談」の主人公・お岩の伝承を持つ神社で、明治12年(1879)に創建されました。本殿横にある石鳥居は明治30年(1897)創設時のままで、また境内の百度石は大阪浪花座でお岩を演じた四代目市川右団次が奉納した区内で最古の百度石として知られ、鳥居・百度石とともに区民有形民俗文化財に登録されています。



⑦ 霊岸島検潮所・量水標跡 D-5 (区民史跡)

東京近郊で標高を求める際は、明治6年(1873)隅田川河口に設置された霊岸島検潮所で観測された東京湾の平均潮位を基準としました。現在の霊岸島水位観測所は、平成6年(1994)約36m下流に移設され、跡地にはシンボル柱が設置されています。



⑧ 築地場外市場 C-6

卸売のまち築地として活気に溢れる築地場外市場は、生鮮食品だけでなく飲食関係の商品を扱う店など約400店舗が軒を連ねています。



⑨ 鐵砲洲稲荷神社 D-5 (区民文化財)

江戸時代は稲荷橋近くの河岸地にあり、諸国の廻船が入り出す湊に位置していたことから「湊稲荷」と呼ばれていましたが、築地外国人居留地が開設された関係で現在地に移転しました。毎年1月には「寒中水浴大会」が行われ、禊払いと無病息災を祈願しています。また、5月には例大祭が行われます。



⑩ カトリック築地教会聖堂 D-6 (区民文化財)

長崎、横浜に次ぐキリスト教会として明治7年(1874)に築地外国人居留地内に建設されました。聖堂は明治11年(1878)に創建されましたが、関東大震災で焼失したため、昭和2年(1927)パリにある聖マグダレナ天主堂を参考に、ギリシャ神殿パルテノン様式で建てられました。



⑪ 築地本願寺 C-6 (国指定重要文化財)

元和3年(1617)に創建された京都西本願寺の直轄寺院で、当初の坊舎は横山町付近にありましたが、明暦の大火で焼失し、延宝7年(1679)に築地の地に御堂が落成しました。関東大震災により被災した本堂は、昭和9年(1934)に伊東忠太の設計により古代インド様式の石造建造物として再建され、平成26年(2014)には国の重要文化財に指定されました。

⑫ 波除神社 C-6

万治年間(1658~61)、波浪により築地一帯の埋め立てに困難を極めた工事を完成に導いたという故事から創建された神社といわれています。波除稲荷神社の「天水鉢」と「雌雄一対の獅子頭」はともに区民有形民俗文化財に登録されています。同神社のお祭りは、江戸時代から「獅子祭」として有名で、現在も3年に一度の「つさじ獅子祭」の本祭では、宮神輿とともに2つの大獅子のうちいずれかが担がれて築地地区を巡行します。

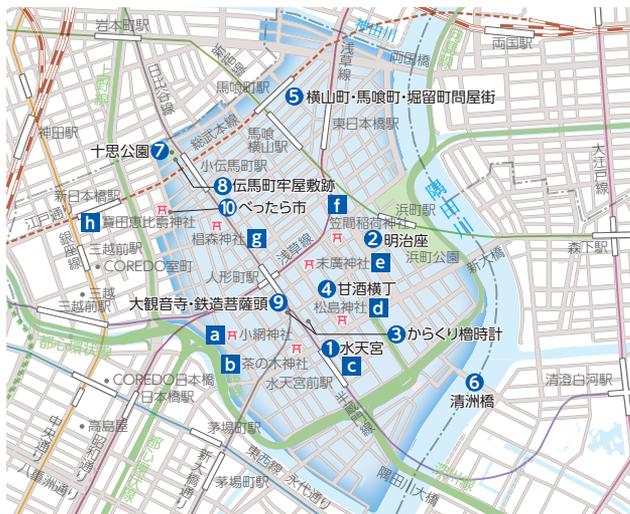


⑬ 永代橋 E-4 (国指定重要文化財)

五代将軍徳川綱吉の50歳を祝して創案されたともいわれ、現在の架橋位置より150mほど上流にありました。現在の橋は大正15年(1926)建造のアーチ橋。ライトアップされる時は、日没とともにブルーライトに照らされ、その美しい姿を鑑賞できます。



人形町



日本橋七福神

- a** 小網神社 D-3 福祿寿・弁財天(水産・殖産の神)
- b** 茶の木神社 E-3 布袋尊(福德円満の神)
- c** 水天宮 E-3 弁財天(学問・芸術の神)
- d** 松島神社 E-3 大国神(商売繁盛の神)
- e** 末廣神社 E-2 毘沙門天(福德・勝運の神)
- f** 笠間稲荷神社 E-2 寿老人(長寿の神)
- g** 梶森神社 D-2 恵比寿神(商売繁盛の神)
- h** 寶田恵比壽神社 D-2 恵比寿神(商売繁盛の神)



7 十思公園 D-2

伝馬町牢屋敷跡につくられた公園。園内には、銅鐘石町時の鐘・伝馬町牢屋敷跡・杵屋勝三郎歴代記念碑・吉田松陰終焉の地碑など歴史を物語る史跡が豊富に残されています。



8 伝馬町牢屋敷跡 D-2 (都指定文化財)

伝馬町牢屋敷は、2,600坪を超える幕府最大規模の牢屋。常盤橋門外に置かれたのが最初で、慶長年間(1596～1615)この地に移され江戸町奉行の支配となりました。明治8年(1875)市ヶ谷囚獄ができて廃止され、牢屋敷跡は十思公園・大安楽寺・身延別院などになっています。

9 大観音寺・鉄造菩薩頭 D-2・3

大観音寺の鉄造菩薩頭は、鎌倉時代の作と推定され総高170cm、面幅54cmの仏頭で、都指定文化財に指定されています。元は鎌倉の新清水寺にありましたが、鎌倉時代に火災に遭い、頭部のみが掘り出されました。その後、神仏分離令により鎌倉を離れ、明治9年(1876)現在地に安置されました。



10 べったら市 D-2

慶長年間より続く粋な秋の風物詩です。毎年10月19～20日に寶田恵比壽神社から梶森神社一帯に、「べったら演」を売る露天が並び活気に満ち溢れます。



1 水天宮 E-3

福岡県久留米市にある水天宮を総本社とする安産と水難、水商売に御利益のある神様です。日本橋の水天宮は、江戸時代、久留米藩主の有馬頼徳が三田(現在の港区)の江戸屋敷に分霊を勧請したのがはじまりです。

2 明治座 E-2

明治6年(1873)に開場した喜昇座がはじまり。その後、久松座、千歳座と名を改め、明治26年(1893)、明治座に改称しました。

3 からくり櫓時計 D-3・E-3

火の見やぐらをデザイン化した人形町通りのからくり櫓時計台。他に江戸落語をデザインしたからくり櫓時計台もあります。



4 甘酒横丁 E-2・3

甘酒横丁は東西約400mにわたる小路で、通りには、つづら店などの老舗や名店が立ち並びます。甘酒横丁の名前は明治初めにこの横丁入口に、尾張屋という甘酒屋があったことに由来します。

5 横山町・馬喰町・堀留町問屋街 E-1

江戸時代から帯やかんざしなどの小間物問屋・紙煙草入問屋・地本双紙問屋などが集住し、江戸の生活を支えていました。現在も繊維や衣料品・生活用品の問屋街として知られています。素人お断りの店が多いが、誰でも買える店もあります。



6 清洲橋 F-3

(国指定重要文化財)

関東大震災の震災復興事業として計画された橋で、昭和3年(1928)に竣工。デザインはドイツのケルンにあるライン川の吊橋をモデルにしています。



佃・月島



a 築地大橋 / 黎明大橋 / 豊洲大橋

都が整備した環状2号線、新橋～豊洲間で隅田川、朝潮運河、晴海運河に架かる橋。

b 勝鬨橋 (国指定重要文化財)

昭和15年(1940)に竣工した双葉跳開橋で、完成時には東洋一の可動橋と呼ばれましたが、昭和45年(1970)を最後に開閉が停止となっています。

c 佃大橋

昭和39年(1964)、江戸時代から300年以上続いた「佃の渡し」に代わって創架されました。この建設に伴って、佃島と月島の間に流れていた佃川が埋め立てられ、2つの島は地続きになりました。

d 中央大橋

佃地区の再開発にともなって平成6年(1994)に創架されました。橋の中央部上流側の橋脚上には、隅田川(東京)とセーヌ川(パリ)の友好を記念してパリ市から贈られたオシップ・ザッキンの彫刻「メッセンジャーの像」が飾られています。



勝鬨橋



中央大橋

10 晴海埠頭 C-9

晴海客船ターミナルにある展望台からは、東京ベイエリアを見渡すことができます。



築地大橋

6 フラワーカーペット晴海 D-7

毎年10月下旬～11月上旬に晴海アイランドトリトンスクエアで開催されるイベント。イタリア・ジェンツァーノ市の花祭りを晴海流にアレンジしたもので、花びらで敷き詰めたフラワーアートを鑑賞できます。



7 十返舎一九墓 C-7

(区民文化財)

「東海道中膝栗毛」の作者、十返舎一九(1765～1831年)の墓が、真円山東陽院にあります。駿府生まれの一九は、大阪で近松余七と号して浄瑠璃作者となり、寛政6年(1794)江戸に出て戯作に従事しました。墓の左側面には、有名な辞世の句「此の世をはとりやお暇に線香の煙とともに灰さようなら」が刻まれています。



8 月島の渡し跡 C-6・D-6

明治25年(1892)に鈴木由三郎がはじめた施設の有料渡船で、月島(現在の月島三丁目)と南飯田町(現在の築地七丁目)をつないでいました。明治期には工業地帯としての発展に伴う乗客の増加に対応するため徹夜で営業したこともありましたが、勝鬨橋の完成により廃止されました。

9 佃浪除稻荷神社の力石 D-6

(区民文化財)

佃地区の漁師たちは、関東大震災の頃まで石を持ち上げて力競べをする習慣があったといわれています。現在、佃浪除稻荷神社の鳥居脇には3つの力石が並んでいます。



佃浪除稻荷神社

1 月島西仲通り D-6

西仲通りは、道の両脇のアーケードに昔ながらの店舗が建ち並ぶ商店街。「もんじゃ焼き」の専門店も多く、通称「もんじゃストリート」と呼ばれています。7月には「月島草市」が開催され、縁日の露店で賑わいます。



2 住吉神社 E-6

佃島から月島一帯の氏神で、大阪の住吉神社の分霊を移したものです。境内の水盤舎・陶製扁額は区民文化財。毎年行われる例祭のほか3年に一度行われる本祭では、獅子頭(区民文化財)や八角神(区民文化財)の宮出し、船渡御などが行われます。



3 パリ広場 E-5

隅田川のスーパー堤防の上部を利用した親水性のある石川島公園には、パリに東京広場が建設されたお礼としてパリ広場があり、モニュメントが設置されています。

4 石川島資料館 E-5

造船所の創業から現在までと、関わりが深い石川島・佃島の歴史や文化を、貴重な資料や当時を再現したジオラマ模型などで紹介しています。

5 佃島・佃煮発祥の地 D-6

江戸時代、摂津国(今の大阪)佃村から移り住んだ漁師たちが保存食として食べ始めたのが佃煮の起源。今も江戸時代から続く3軒の佃煮屋さんが伝統を引き継いでいます。



東京 中央区

観光ガイドマップ



Tokyo Chuo City
Tourist Information Center

中央区観光情報センター



外国人を含む旅行者に、
東京・中央区の魅力を発信する
インフォメーションセンターです。
お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 東京都中央区京橋二丁目2番1号
「京橋エドグラン」内地下1階及び1階の一部
- TEL 03-6262-6481
- 開館時間 9:00~21:00
- 休館日 年中無休
- HP <https://centraltokyo-tourism.com>



中央区観光協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-25-3 京橋プラザ 3階
TEL 03-6228-7907

中央区観光協会ホームページ

www.chuo-kanko.or.jp



Japan.
Endless
Discovery.



TOKYO